平成 31 年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 学校の調査結果





あいさつの日時計

令和元年 12 月 海老名市立柏ケ谷小学校

平成31年度(令和元年度)

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語,算数・数学,英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

1-/ - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件
等に関する調査	の整備の状況等に関する調査
(例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理	(例)授業の改善に関する取組、指導方法の工
解度、読書時間、勉強時間の状況 など	夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との
	連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日(木)



小学校 国語

出題された調査問題の内容(出題の趣旨)

- ・図表やグラフなどを用いた目的を捉える
- 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方や工夫を捉える
- •目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
- ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む
- •目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む
- 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする
- ・目的に応じて、質問を工夫する
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる

本校の調査結果

◆比較的できている点

○インタビューの場面で、相手の意図を捉えながら聞き、自分の理解を確認する質問をすることの設問では、相当数の児童が正答することができている。

◆課題のある点

- 〇漢字(同音異義語)を文の中で正しく使うことの設問では、正答が全国平均を大きく下回っている。
- ○文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある。
- ○目的や意図に応じて、自分の考えや理由を明確にし、まとめて書くことに課題がある。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 〇漢字学習では、新出漢字を繰り返し練習することにとどまらず、漢字辞典を使って意味を調べたり、同音異義語を使い分けた短文作りをしたりする学習を取り入れるなど、漢字や熟語を文章の中で正しく使うことができるように指導していきます。
- ○接続語の役割を正しくとらえさせ、分かりやすく伝わるように文を分けて書くことができるよう に指導していきます。
- ○教材文等を用いた学習の中で、事実と感想、意見などとの違いを確かめるようにし、事実を 客観的に書く、文末表現に注意して書くなど、事実と自分の考えとを区別して書くよう指導し ていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容(出題の趣旨)

- ・台形について理解している
- ・図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる
- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる
- 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる
- ・2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる
- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる
- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる。
- ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる。
- ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる
- ・示された除法の式の意味を理解している
- ・目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる
- ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる
- ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答え方を記述し、その結果から判断できる

本校の調査結果

◆比較的できている点

- ○台形については相当数の児童が理解できている。〔図形〕
- ○棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができている。〔数量関係〕

◆課題のある点

- ○図形の性質や構成要素に着目し、図形をずらしたり、回したり、裏返したりすることで、ほかの図形を構成することに課題がある。[図形]
- ○減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方について成り立つ性質 を記述することに課題がある。〔数と計算〕

今後の具体的な指導改善のポイント

- ○図形の学習では、具体物を操作しながら図形を構成したり分解したりして、図形についての 見方や感覚を豊かにする指導を工夫します。〔図形〕
- ○計算をする際には、その計算が確実にできるようにするとともに、計算に関して成り立つ性質 を見いだしたり、それらを活用して計算を効率的にすることに気付かせたりするよう指導します。〔数と計算〕
- 〇日常生活の問題の解決のために、多くの情報の中から必要な数量を見いだし、数学的に表現できるように指導をしていきます。[数量関係]

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 〇相当数の児童が国語、算数の授業は大切であると感じている。また将来、社会に出たときに 役に立つと答えている。(国語:98.7% 算数:98.6%)
- 〇様々な学習の場面でICTを活用したいと思っている児童が相当数いる。(97.3%)
- 〇最後までやり遂げて、うれしかったことがあると相当数の児童が答えている。(97.3%)

◆本校の課題と思われるところ

- ○家で、自分で計画を立てて勉強をしている児童の割合は約6割であまり多いとはいえない。
- 〇自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示すなど、話や文章の工 夫をすることが苦手だと感じている児童が多い。

生活について

◆本校のよかったところ

- 〇相当数の児童が朝食を毎日食べている。(97.3%)また、毎日同じくらいの時刻に起きていると答えている。(91.9%)
- 〇相当数の児童が自分のよいところを先生が認めてくれていると感じており(90.5%)、また、自分にはよいところがあると思う(90.6%)と答えていることから自己有用感をもって生活しているようだ。
- 〇いじめはどんな理由があってもいけないことだと相当数の児童が認識している。(98.7%)

◆本校の課題と思われるところ

○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたり、今住んでいる地域の行事に参加したりしている児童の割合が約半数で、地域・社会との関わりが少ない。

今後の具体的な取組について

- 〇基本的な生活習慣の更なる定着に向け、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に学校と家庭 が連携しながら指導していきます。
- ○地域社会とのつながりや様々な地域の行事に関心をもつことができるよう、家庭・学校・地域 が連携した学校体制づくりを進めていきます。
- ○更なる達成感につなげるため、主体的な学びになるよう、見通しをもって粘り強く取り組ませたり、思いや考えを基に学習が進められたりできるよう授業のあり方について研究を進めていきます。

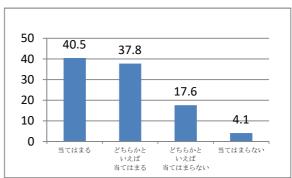
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

学校の出来事についての 話を聞きましょう。

お子さんと日々話をすることで学校 での出来事やお子さんの様子が伝わ ってきます。日常の会話を大切にし てください。



家の人(兄弟姉妹を除く)と学校の出来事について話を しますか。

2

自分で計画を立てて、家庭 学習に取り組みましょう。

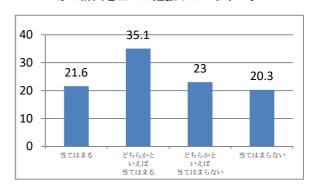
宿題を含め、予習、復習など、お子 さん自身が考えて取り組めるよう励 ましてください。 40 35.1 38.4 28.4 20 10 5.4 当てはまる どちらかと いえば いえば 当てはまらない いえば 当てはまらない

家で計画を立てて勉強していますか。

3

地域の行事に参加しましょう。

地域の行事に親子で参加するなど、 地域の一員としての意識を育ててい きましょう。

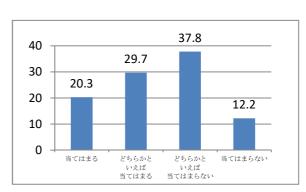


今住んでいる地域の行事に参加していますか。

4

地域や社会に目を向けて みましょう。

地域や社会について、家庭でも話題 にすることで、社会に参画する意識 と態度を育てていきましょう。



地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。 (教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

・国語、算数・数学に対する関心・意欲・ 態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれ ていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出 来事に関心がある
- 新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネット のニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ·自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域 の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

・家の人と学校での出来事について話をする ・家の人は、授業参観や運動会などの学校 行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- 学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

携帯電話やスマートフォンで通話やメール、 インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

- ○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。 全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善 に生かすために公表するものです。
- ○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 〇「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力



【市の結果についての問い合わせ先】 電話 046-235-4919 海老名市教育委員会教育支援課 指導係



